

チェルノブイリ通信

2013年3月20日

No.91

■発行 NPO法人チェルノブイリ医療支援ネットワーク
〒811-3102 福岡県古賀市駅東2-6-26/バステル館203号
TEL/FAX 092-944-3841 Email jimmu@cher9.to
ホームページ <http://www.cher9.to/>
■募金口座 郵便振替口座 01770-1-65328
楽天銀行 ジャズ支店(支店番号201)(普)7017104



チェルノブイリ医療支援ネットワークは、チェルノブイリ原発事故で被災した人々のために、
現地から求められる医療支援を行います。
この活動を通して、日本とベラルーシの人々の心と心のつながりを深めます。



ブレスト要塞にあるロシア正教会のそばで出会った女の子

特集:ブレスト第12回検診帰国報告(2)

ベラルーシの文化や医療現場を
肌で感じた一週間

2013年度通常総会報告

今さら聞けないチェルノブイリQ&A

事務局日誌より主な活動報告

会員さん紹介コーナー

募金者のお名前とメッセージ

● 特集 ● プレスト第12回検診帰国報告(2)

ベラルーシの文化や医療現場を肌で感じた一週間

昨年秋の検診団派遣事業に参加された平川さんのレポートです。学業の傍ら、国内事業でもボランティアスタッフとして積極的に活動に参加してください。今回は、国内事業でもボランティアスタッフとして積極的に活動に参加していただきます。また今年度より理事として運営を担っていただく予定です。今回は、将来臨床検査技師を目指す立場の視点も交えて報告をしていただきました。

九州大学医学部保健学科4年生

平川 可南子

ボランティアとしての参加がきっかけ はじめてのベラルーシ訪問

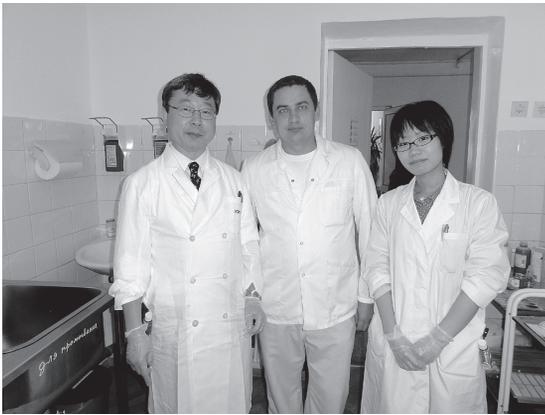
私はこれまで2年ほどチェルノブイリ医療支援ネットワーク(CMN)でボランティアとして活動に参加させていただいています。CMNを知ったきっかけは大学2年生のときのボラタン(※ボランティアとインターンを掛け合わせた造語。2011年秋に(特活)NGO福岡ネットワーク主催の国際協力NGO体験プログラムとして実施され、CMNでは平川さんを含む計3名のボラタン生を受け入れた。)です。将来、医療従事者となることを目標としており、実際に海外での医療支援に携わってみたいと思ったことがこの活動に関

わるきっかけでした。私はチェルノブイリの事故後に生まれ、事故

の状況もあまりよく知らず、ベラルーシという国名すら聞いたことがありませんでした。これまでの多くの活動を通してチェルノブイリの事故やベラルーシについて詳しく知ることができ、私も現地での活動に参加してみたいと思うようになりました。今回のベラルーシへの訪問は一週間という短いものでしたが、そのなかで海外の医療現場やベラルーシの歴史など多くのことを学ぶことができました。



プレスト市での甲状腺がん検診にて検鏡を行う平川さん(上)
首都ミンスクとプレストに滞在し、医療現場のほか、料理や観光、人々との交流を通じてベラルーシの文化に触れることができました



プレスト州立内分泌診療所にて、日本医科大学の渡會先生(左)とともに



ミンスクの街中には近代的な建物が並ぶ



ミンスク郊外では、自然とともに暮らしを営む人々の生活も垣間見ることができた

自然豊かな風景とともに 歴史、文化を満喫

ベラルーシは田舎っぽい感じなのかと思っていました。が、都心部はビルが多く近代的で想像との違いに驚きました。少し都心部から離れるとのどかな田園風景が現れ、大きな山もなくどこまでも見渡せそうな広大な風景が広がっていました。夜の街灯に作られた風景はとても美しく、印象に残っています。また、今回の旅ではプレストの要塞やミンスクの資料館などを訪問する機会もあり、ベラルーシの歴史についても

学ぶことができました。要塞に残されたドイツとソ連の戦争の際の砲弾の跡や、資料館の写真や展示品はとても生々しいものでした。

異国の医療現場にふれ、 検査技術の利点を実感

今回の検診では、日本医科大学の渡會先生のもとで甲状腺がん検診の補助をさせていただきました。検査をおこなったプレストの診療所は意外と広く、多くの患者さんが診察を待っていました。はじめに、甲状腺の

コー検査及び細胞の穿刺せんしの様子を見学させていただきました。甲状腺の穿刺はとてもスムーズで、細胞も正確に取れており、現地スタッフの方々の技術の高さを感じました。

甲状腺がんの検診は、甲状腺から採取した細胞を染めて診断をします。細胞の染色には特別な機械等も必要ないため、どこでもできるという利点があります。そのため、染色および顕微鏡での細胞の観察にはあまり不便さを感じませんでした。ベラルーシでの検診が日本と違う点は、細胞の

染色方法です。日本では補助的に使用されているギムザ染色という方法のみで診断をおこなっていただきます。実際の検体を見せていただきましたが、がん細胞の特徴などが分かりにくい印象を受けました。検診を始めた当初は80名近く患者さんがいたそうですが、今回検診の対象となった患者さんは25名程度でした。ベラルーシではギムザ染色による甲状腺の穿刺吸引細胞診の方法が確立されているようでした。

今後へ向けて次の展開を

今回のベラルーシ訪問では、海外での医療現場を肌で感じる事ができました。日本の細胞診の技術がベラルーシに受け入れられ、現地の専門家も育ちつつあるのはとても素晴らしいことです。細胞診は現地の人たちだけで実施することができており、毎年、検診の必要性も薄れているのではないと感じました。今後は現地での細胞診が継続されていくよう、今とは違った支援の形を考える必要があると思います。

2013年度

総 会 報 告

2月23日(土)、福岡市人権啓発センター研修室にて、2013年度通常総会を開催し、昨年度の事業、活動決算報告及び、今年度の事業計画、活動予算についての協議・承認が行われました。スペースの都合上、簡単な報告となっております。詳しい資料は、団体ウェブサイトにて公開しているほか、ご希望の方へはお送りしていますので、事務局までご連絡ください。

http://www.cher9.to/kako_katudo.html



今年も頑張ります！



2012年度事業報告

2012年度の海外支援事業としては、ベラルーシ共和国へ医療検診団・調査団を派遣し、現地と合同での甲状腺がん検診、甲状腺内視鏡手術、現地調査を実施しました。また国内では報告会の開催や会報誌の発行等を実施し、ベラルーシやチェルノブイリの現状について情報を発信しました。これらの事業によって、被災者の福祉の向上と、国際交流の促進に寄与できました。

2013年度事業計画

2013年度は、これまでの海外事業をふり返り、より被災地から必要とされる支援活動の実現を目指します。また国内では引き続き、被災地や被災者の現状を伝えるため、様々な形で情報発信を行います。その他、フェアトレード商品の紹介、販売を通して、広く一般市民にむけた国際協力、国際理解の促進に努めます。

2012年度活動決算書(2012年1月1日～2012年12月31日) 及び 2013年度活動予算書(2013年1月1日から2013年12月31日)

科 目	12年度決算	13年度予算
経常収益		
受取会費	135,000	135,000
受取寄付金	7,078,676	6,350,000
事業収益		
・のぞみ21支援	481,750	500,000
・書籍販売	76,960	30,000
・イベント企画・運営	75,000	115,000
・フェアトレード	1,053,839	1,000,000
受取助成金	0	1,250,000
その他収益	18,127	1,000
経常収益計	8,919,352	9,381,000
経常費用		
事業費		
・人件費	3,253,410	3,310,233
・その他経費	5,801,406	5,693,550
事業費計	9,054,816	9,003,783
管理費		
・人件費	44,795	42,767
・その他経費	192,943	242,450
管理費計	237,738	285,217
経常費用計	9,292,554	9,289,000
当期経常増減額	-373,202	92,000
税引前当期正味財産増減額	-373,202	92,000
法人税、住民税及び事業税	81,000	81,000
当期正味財産増減額	-454,202	11,000
前期繰越正味財産額	8,304,977	7,850,775
次期繰越正味財産額	7,850,775	7,861,775

(単位:円)



2012年秋、プレスト市での甲状腺がん検診



2013年度運営体制

- 理 事 長 河上雅夫
 副理事長 寺嶋 悠
 理 事 小山浩一、吉本美貴
 和田幸策、川原秀之
 小川峰湖、平川可南子
 監 事 本田正之
 事 務 局 川原秀之、三島さとこ

いまさら人にはきけない?! チェルノブイリ

12がめ どんな支援活動をしてきたの? (前)

4年7月

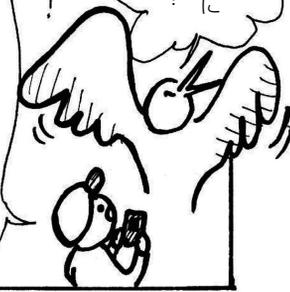
イヤイヤ 意外としろない

「コウちゃん見て見て ネットでもたちが てきやした



直接会うてもないのに 信用できないワ!

でもさ、チェルノブイリ 医療支援ネットワークの活動だつて きつかけはパソコンだったんでしょ?



河上さん、ただこれ? 今の理事の中で唯一 団体結成のときから 活動を続けてるのよ

そこで、なんとか したいという九州 各地の人たちが 立ち上がって団体 をつくったんだよ

そのま 1990年1月 モスクワ から助けを求めるメッセージ をキヤッチしたことが はじまりなの

当時 インターネットは まだなかったから パソコン通信よ

たとえば1990年12月 はじめてたくさんの 人たちから募金を 集めて支援物資を 送ったときのこと



「直接顔を あわせる」 つていうのは とつてもだいじ なんだよ



モノ以外の支援つて 最初どんなこと してたの?

1992年から4年間は ミンスク郊外で 「サナトリウム九州」 を運営したんだ

やつと見つけて翌年4月に 届けるこほまきたけど 中身はつてえんだ

それからほ 毎年調査団を派遣して 直接やりとりして

学校のクラス単位で3週間ほど滞在して

運動やマッサージで 健康や体力を 回復したり

エコーや免疫機能 検査もできたんだ

サナトリウムつて? 子どもたちのための保養所よ

子どもたちがつらい 思いをしたつていう ことはほくも作文集 で読んだよ(※)

一時的に汚染のない 環境ですつてこほ

子どもたちの 身体にも心 にもたいせつな つてつたのぢね

ぜんぶで270人が 保養したんだ

ペルーシンの 子ども100人が 書いた作文を 本にするため 50にしほりこむ 作業をしたのは 日本全国で手を あげてくれた200人の 若者たちなんだよ

編集にかかわつた 日本の若者たちが ペルーシンの村を たずねたり

そのあと若者 たちが日本に やつてきたり

交流がつついたんだ

いいなあ

ぼくもトモダチ トモダチ...

わかつてるんだか いないんだか...

※2013年4月、梓書院より『改訂版 わたしたちの涙で雪だるまが溶けた』が出版される予定です。 詳しくは092-643-7075へ。

事務局日誌より 主な活動報告



日々の活動の様子は、HPの「事務局スタッフブログ」でも紹介しています。

<http://www.cher9.to/>

◆11月22日 福岡市立住吉中学校にて講演



講演中の寺嶋理事

3年生を対象とした総合学習の時間に、チェルノブイリ原発事故やベラルーシでの活動についてお話をさせていただきました。講演後の質疑応答ではたくさんの方が「どなたかの手が挙げられ、ごんごんときやりに感じているか」「今まで大変だったことは何か」といった質問がありました。

◆12月22日 子育て協同研究会
未来は子どもたちのために



歌の披露もありました

研究会の分科会にて、理事の小山が「みんなのいのちかがやけ」というテーマでお話をさせていただきました。チェルノブイリの他、長崎や水俣などでのフィールドワークについて、写真を交えて説明。会場内にて「のぞみ21」雑貨なども展示し「刺しゅうがステキ」といったご感想をいただきました。

◆2月10日 北九州ソーシャルビジネスメッセ



暖房を使わない会場にて

北九州市小倉北区で開催されたソーシャルビジネスメッセに参加しました。たくさんの方々が出席して、環境や福祉など色々な分野で活動されているNPO、企業さんなどを数多く知ることができました。異業種間でネットワーク構築ができるというと思います。

◆11月25日 和白干潟まつりに参加



お天気にも恵まれました

福岡市東区の和白干潟にて開催された「第24回和白干潟まつり」にて活動紹介ブースを出展しました。初参加とあってか、福祉工房「のぞみ21」雑貨や支援コーヒーは予想以上の売れ行きでした。ご来場者の中には会員さんもおいらっしや、直接お話しもできました。

◆2月21日 大学とNGOの連携シンポジウム



プレゼン中の川原理事(中央)

外務省NGO研究会の公開シンポジウムが西南学院大学で開催され、NGO側からの連携の提案として、「海外体験プログラム」についての説明をさせていただきました。その他、海外での連携事例報告など多彩な内容で、詳しくは事務局ブログでも報告しています。

コーヒー・紅茶キャンペーンのご案内

安全でおいしいコーヒー・紅茶を飲むことで、チェルノブイリ被災者を支えることができます

おいしいコーヒー、紅茶を飲んで、気軽にチェルノブイリ支援に参加しませんか？

期間中、商品（コーヒー・紅茶、のぞみ21雑貨など）を合計5千円以上ご注文いただいた先着20名の方に、ミネラルたっぷりの、韓国西海岸・干潟天日塩（100g）をプレゼントします！

期間 2013年3月15日(金)～4月15日(月)まで

ご注文はTEL/FAX、メール等でお気軽に事務局まで。
お買上げ総額5000円以上で送料無料となります。



私も応援しています!

会員さん 紹介コーナー

Vol.17

このコーナーでは、チェルノブイリをともに支えただいている会員の皆さまより、活動への思いや現地へのメッセージをお聞かせいただきます。

取材／小川

本日の会員さん

大瀨 両平 さん

<東京都板橋区>

子どもたちの未来のために

●簡単な経歴を教えてください。

共同通信社の総務グループ管財部に勤務していました。仕事はネットワーク関係から、高い頻度で開催される会議（編集会議など）の机や席次のレイアウト作成など、多岐にわたります。特に印象に残っている出来事は、首相になった小泉純一郎氏が共同通信社に来た時のことです。私がマイクを直接渡すことになったのですが、ちょうどマイクを渡したその時の映像が各局のニュースで配信され、いろんな方から「テレビに写っていましたね」といわれました。少し恥ずかしかったですね（笑）。また、社内での火事を早期発見して総務局長賞を頂いたこともありました。記者の方はたくさん記事を書くのでそ

ういった賞をもらえる機会も多いのですが、管理部系でもらうのは本当にまれでした。

●チェルノブイリ医療支援ネットワーク（CMN）を知ったきっかけは？

現在理事長をされている河上さんから話を聞いて会員になりました。チェルノブイリ原発事故については、悲惨な事故だと思いました。事故自体にも驚きましたが、事故の後も事故処理などで放射能に苦しめられる人々の人数がどんどん拡大していったことが本当に恐ろしいと思いました。たった一度の事故で、ベラルーシの人々は故郷を追われることになってしまっ……。しかも25年以上たっ



た今でも住めない状態なんですよね。当時は仕事柄そういった報道に毎日のように接していましたし、ひどいことが起きたなあ、と思いながら毎日を過ごしていました。

●CMNに望むことはありますか？

仕事でも報道として接するチェルノブイリ事故というものがありましたから、ずっと気にかかっていました。ですが、何かしなくてはと思います。自分が自分自身がどこから手を付けてよいか、という感じでした。そんな時に河上さんに話を聞きました。

かなり長い期間会員になっていますが、今までかわることができた活動はそんなに多くないのです。思い出深いのは、20年近く前に東京の

目黒のホテルにベラルーシの子どもたちを招いて、気功で治療をするという活動がありました。また、同じ頃にとしまえん遊園地に行くという活動にも参加させていただきました。子どもたちがまだ10代の頃だったので。その時に、放射能に脅かされていても、ひと時だけそれを忘れていそうにはしゃぐ子どもたちが印象的でした。

また、自分は新潟の出身で、新潟にも柏崎刈羽といった原子力発電所がありますから、そういう意味でもずっと関心を持っていました。原発立地県にいましたので、原発事業やその周辺で働く人の生活があるというのには理解できます。しかしやはり原子力発電所には反対です。危険なものは停止したいと思います。風力、火力では本当に賄えないのだろうか？ 実際に原発が全て停止していても賄えたのに、なぜまた動かそうとするのだろうか？ という疑問があります。私たちはもうある程度年齢に達しているのですが、子どもたちには未来があるので。子どもたちの未来のために息の長い活動をして、私たちにも協力できることを提供していただきたい、と思っています。

たくさんのご支援を ありがとうございます。

(順不同 敬称略)

- 相川美智子 明恒次郎 浅原望樹 石川睦枝 泉田慶子 稲吉清子 井上信子 井上泰子 井上洋子 岩川親良 岩切直美 岩森久美 宇都宮裕子 江口美知子 江藤由美子 榎本みつ枝 大石恵理子 大谷正穂 岡ひかり 緒方君江 緒方靖子 岡野祐子 小川令美 小川麻由美 沖佐和子・中西葉子 榊モノダスサンコー 辛島恵里 河野英子 川原重信 川辺希和子 キープ自然学校 木下るみ 木村哲夫 木村みさ子 栗田光子 クリユティエ 桑田陽子 小島輝巳 西井田智枝 佐々木しのぶ・雪乃 佐藤久美 サトウ矯正歯科クリニック 新藤幸子 関根敏子 高田正世 高橋武三 田中直子 谷村禎一 種和子 鶴園直美 友成眞子 永雄千恵子 中上尋子 中島幸代 長瀬清 仲宗根明美 中村京子 中村幸枝 中本博子 西嶋香穂子 野中孝子 野村幸子 林田実子 林田英明 引田良子 日高太 松原こひつじ幼稚園 平島標子 廣橋富士枝 福迫ひとみ・愛梨 福岡由紀子 船越あつこ 前田育子 松井由美子 丸山さより 三木悦子 村上和代 めぐみ保育園職員一同 森悠子 守山美佐子 柳元秀昭 矢野和代 山浦真弓 山口直子 山路まり子 山本潤子 過足智子 和田茉莉恵 渡辺久美子

(都道府県別)

【北海道】	1名	【青森県】	1名	【福島県】	1名
【茨城県】	1名	【東京都】	7名	【千葉県】	1名
【神奈川県】	5名	【山梨県】	1名	【長野県】	2名
【新潟県】	1名	【愛知県】	2名	【静岡県】	1名
【三重県】	1名	【兵庫県】	4名	【大阪府】	4名
【滋賀県】	1名	【鳥取県】	2名	【島根県】	7名
【広島県】	15名	【岡山県】	1名	【山口県】	16名
【愛媛県】	1名	【福岡県】	81名	【佐賀県】	2名
【長崎県】	10名	【熊本県】	19名	【大分県】	13名
【宮崎県】	3名	【鹿児島県】	13名		

計277名(匿名含む)

合計	1,491,603円
活動支援金	1,153,063円
のぞみ21カンパ	9,040円
雪だるま3号カンパ	26,500円
東日本支援カンパ	303,000円

- マンスリーサポーターの皆さん
- 相川靖 相羽美香子 石本祥二郎 磯道綾子 一瀬和美 伊藤利恵 稲田照子 井上礼子 岩口香織 上田英子 植田清子 内野千鶴子 有働聡美 延壽富美 大塚卓子 大久保伸子 大久保弘子 大崎知恵 太田昌子 大場満 落石久子 片岡八重子 片山富美子 金山涼子 紙森優子 河上雅夫 川崎君子 川崎清美 川尻愛子 木村雅子 倉掛大輔 古賀輝洋 後藤宇企子 財津悠子 斉藤美代子 阪口香奈子 坂口馨子 櫻井美喜子 佐竹早苗 佐藤二江 佐藤進一 佐藤照子 白浜千恵子 首藤展子 高山知佐子 竹田恵子 武田孝子 田中京子 珍部千鳥 土持秀男・由利子・朱加 綱脇牧子 坪川裕子 富永隆史 鳥井原桐子 鳥原良子 永江之子 永尾ゆかり 永野沙智子 中村洋子 榎崎悦子 西井えりな 西首延子 丹羽道代 納富育代 廣松初美 深川哲臣 福井初子 福本勅子 藤田優子 藤本孝子 洲田三輝 古川恵子 松尾智恵子 松木幸美 松永庸子 丸山さより 水本敬子 三野桂子 村田聡子 村西美由紀 村松知子 室屋芳乃 森川キミエ 矢野和代 山下澄子 山中陽子 山本亮輔 吉田美抄子 吉野陽子 吉丸隆子 渡邊真志子
- 計122名(匿名含む)

(2012年11月1日〜2013年1月31日までに募金をして下さった方、ならびに「のぞみ21」雑誌、支援コーヒー・紅茶の購入を通じて活動を支援して下さいました方です。通信にお名前を紹介することを許可いただいた方のみ掲載しています。)

編集後記

今号では、支援者の皆さまの都道府県別人数を、匿名の方を含む数で表記しています。福岡、九州を中心に全国各地からのあなたがいそ支援があることを改めて感じました。今後ともCMNをよろしくお願いします！(み)

皆さまからのメッセージ (一部抜粋)

●ほんのわずかですが、お役に立てたら幸いです。●出来る時に支援をしたいと思えます。●ご健康をお祈りします。安心して暮らせますように。●ゴメリ州遺伝学研究所のオレグ所長のチエルノブイリのその後の話は今の福島状況を的確に語られていらっしゃると思います。●日本は危機感がまったくないですね。このままの状況が続くと病になる子ども達がたくさん出てくると思います。●日本でも保養型でいいので多くの子ども達を避難させるべきです。●冬の寒さを無事に過ごされますように。●遅くなりました。私の小さな気持をお届けします。●今回のゴメリの特集には心を打たれました。私たちもできることから一歩一歩、との思いを新たにしました。●おいしいコーヒー、毎朝かかせません。●「放射能安全神話」があふれる逆流の時代ですが、2013年も宜しく願います。●息の長い活動にいつも頭が下がります。●御身体大切に。●福島の方々の事を思うと心が痛みます。●この国はどこに向かって進んでいこうとしているのでしょうか。私は原発はいりません。●原発の恐さをもっと日本に普及しなくてはいいけません。●少しでも多くの方が笑顔になれますように。●けっして、忘れません。●福島、東北、関東のこともたちが心配です。●この地球をわけあって生きるものとしてわずかでもできることをさせていただけます。●皆様の日々努力されておられることに感謝しております。●時々しかできませんが、いつも応援しています。●経済優先の国作りでなく、ゆったり生きることでできる社会作りが大切と思っております。●地球のあちこちで惨事が増えているのでなかなかカンパできていませんが、忘れてはいません。●南インド紅茶が気に入りました。●早く普通の生活に戻るように祈っています。●わずかですが懸命に生きている方達のお役に立てればと思っております。